

地域課題の解決に向けた取組

雨竜町との森林整備協定による 森林整備推進の取組

空知森林管理署 北空知支署

【はじめに】

空知森林管理署北空知支署は、深川市、沼田町、北竜町、雨竜町及び所在する幌加内町の国有林約6.7万ヘクタールを管理しています。

管内には、北空知流域の水がめとして重要な森林や雨竜沼湿原等の貴重な自然環境と朱鞠内湖などのレクリエーションエリアがあります。

【地域の森林の状況・課題】

北空知流域の市町では、市町有林の面積が少ないため、集約化した森林整備を行うことが難しく、また、これまで国有林と連携した取組も行われていませんでした。

特に、雨竜町（桂の沢地域）には、間伐などの森林整備を要する町有林（19.50ha）があるにも関わらず、既設の作業道が急傾斜なため、伐採してもその伐採木をトラックで運べないといったことから間伐が進まず、林内は混み合い林冠が閉塞したままとなっていました。



部分傾斜が15度以上で車両の登坂が難しい雨竜町の既設作業

また、隣接する国有林の奥地にも、複雑な地形と脆弱な土壌により、山腹部に路網が作設できないため、間伐が行われない人工林がありました。

このように、町有林・国有林ともに路網に関する課題があり、間伐などの森林整備が進まない状況が続いていました。

【地域課題に対する取組】

こうした中、雨竜町から「国有林と隣接する町有林整備のため国有林内に作業道を作設したい。」といった相談があり、その実現に向けた取組を始めました。

現地踏査や打合せを重ね、路網の相互利用など、双方のメリットを確認した上で、令和6年4月に課題解決に向けての取組の第一歩として「雨竜町桂の沢地域森林整備推進協定」を締結しました。



現地踏査による作設路線の検討



白川雨竜町長と佐々木支署長による協定締結式

【協定締結による相乗効果】

作業道の作設工事は来年度以降となりますが、相互利用できる路網整備が実現されれば、町有林の森林整備が進むとともに、木材の円滑な搬出が可能となります。

また、町の作業道から国有林へのアクセスも可能となれば、地盤が安定している脊梁部分を利用した路網ルートを選択が可能となり、より奥地の森林整備にも結び付けられることとなります。

【今後の地域林業を展望する】

北空知支署として初めて森林整備協定を締結しましたが、現在、幌加内町とも「長留内ほろたち線森林整備協定」を締結するための準備を進めています。これからも、地域の抱える現状や課題を共有して、民国一体となった森林づくりを目指したいと考えています。